



ACCELL/IDS で上位Releaseへのバージョンアップ

ACCELL/IDS 現リリースインストールディレクトリ /home/AIDS
ACCELL/IDS 新リリースインストールディレクトリ /home/AIDS_NEW

[注釈]

ACCELL/IDS(UNIFY4.0対応)でACCELL/IDS(UNIFY DataServerELS対応)にバージョンアップを行なう場合は、データベースの移行作業 (UNIFY4.0 から UNIFY DataServerELS) を行なった後に、下記の作業を行なう。

[注釈]

ACCELL/IDS(UNIFY DataServerELS対応)で上位リリースにバージョンアップを行なう場合は、データベースの移行作業は不要。

1. ACCELLアプリケーションの変換 Part.1(ACCELL/IDS 現リリース)

Step1 ACCELL/IDS 現リリースの環境変数の設定

```
DBPATH=/home/ELS_DB ; export DBPATH  
PATH=/home/AIDS:/home/AIDS/bin:$PATH ; export PATH  
UNICAP=/home/AIDS/lib/unicap ; export UNICAP  
TERMCAP=/home/AIDS/lib/termcap ; export TERMCAP  
UNIFY=/home/AIDS/lib ; export UNIFY
```

Step2 フォームをASCIIフォーマットに変換

```
マスターフォームの場合、 Q2ASC -a フォーム名 > フォーム名.az  
一般フォームの場合、    Q2ASC フォーム名 > フォーム名.fz  
ヘルプフォームの場合、  H2ASC フォーム名 > フォーム名.hz
```

2. ACCELLアプリケーションの変換 Part.2(ACCELL/IDS 新リリース)

Step1 ACCELL/IDS 新リリースの環境変数の設定

```
DBPATH=/home/ELS_DB ; export DBPATH  
PATH=/home/AIDS_NEW:/home/AIDS_NEW/bin:$PATH ; export PATH  
UNICAP=/home/AIDS_NEW/lib/unicap ; export UNICAP  
TERMCAP=/home/AIDS_NEW/lib/termcap ; export TERMCAP  
UNIFY=/home/AIDS_NEW/lib ; export UNIFY
```

Step2 アスキー化したフォームファイルから、ACCELL/IDS 新リリース対応のフォームファイルを作成する。

```
マスターフォームの場合、 ASC2Q -a フォーム名 < フォーム名.az  
一般フォームの場合、    ASC2Q フォーム名 < フォーム名.fz  
ヘルプフォームの場合、  ASC2H フォーム名 < フォーム名.hz
```

Step3 makeファイルを作成し、コンパイル/結合/リンク

```
$makeamake  
$make
```



Step4 システム・タイトルの変更

シェルスクリプト `acell` を実行してメインメニューを立ちあげた際、画面に表示されるシステム表題が、前のリリースのバージョンである場合は、「システムパラメータの変更 (`parmnt`)」を使用して、システム表題を新しいリリースのバージョンに併せて変更する。

```
"ACCELL Release 1.4E"  
    変更  
"ACCELL Release 8.1H"
```